



■2023～2024 年度プログラム  
337-D地区ガバナー 新里正雄



国際会長テーマ 「We Serve (われわれは奉仕する)」  
// メッセージ 「世界を変える (Changing the World)」  
国際会長 パティ・ヒル (カナダ・アルバータ州・エドモントンLC)  
地区スローガン  
「<sup>なご</sup>和みの心で一致団結 We Serve」  
ガバナーテーマ  
「寛容・友愛と相互理解の精神で  
共に一歩づつ」

【 ～ごあいさつ～ 】

第1波から第8波と約3年余続いたコロナ禍も落ち着きを取り戻し笑顔が街中に溢れてきました。コロナ期間中は準地区・各クラブとも、創意工夫しながら会議・奉仕活動を実践されたと推察申し上げます。

世界ではロシアのウクライナ侵攻・各地で内戦による犠牲者と避難民の長期化、トルコシリア地震で5万人余の死者と難民。温暖化による自然災害発生の大規模化と多発により、我々ライオンズの救援を待っている人々が世界各地に大勢います。この様な時は地域社会ニーズも変化・多様化が顕著になり、今こそ各クラブの対応力が試されます。お互い情報を配信し成功事例から学び合う姿勢が大切です。

国際協会は会員減少に歯止めを打つ為、全世界で「会員増強プログラム」として前年度よりGMAをスタート。日本においてもEXT(新規クラブ)に特化したGET地区コーディネーターを任命、GMTは既存クラブの会員満足度を上げて若い会員の増強に特化しました。

本年は年次大会が開催される様になって、第70回を迎える節目の年になります。会員数の増加が奉仕の質と受益者数を増やす飛躍の年度にしたいです。LCIとLCIFは車の両輪であり、ガバナーは準地区LCIFコーディネーター、リジョン・チェアパーソンは副コーディネーターとして会員にLCIFの事業内容等を理解・納得していただける用に取り組んで参ります。

会員各位の皆様へは、内容をご理解頂き今後ともご協力のほど、お願い申し上げます。

## **基本方針**

### 1. 会員増強

国際協会は会員減少に歯止め掛けるために、全世界で「会員増強プログラム」として昨年度より GMA をスタートしました。日本においては前年度下期より EXT(新規クラブ)に特化した GET 地区コーディネーターを任命、GMA は既存クラブの会員満足度を上げて若い会員の増強に特化しました。

### 2. LCIF(資金増強)

温暖化の影響で自然災害の大規模化と多発、トルコ地震、ウクライナ侵攻、世界各地での内戦等の多数の犠牲者と避難民の増加。日本でも貧困家庭の増加で、救援を待っている人々大勢います。全会員の 100 ドル献金と MJF で国際財団を通して、世界中の地域社会へ貢献できます。

### 3. YCE・レオ

[YCE]

冬季の再開に向けて準備を行います。在日米軍家族との短期交流会の実施。

[レオ]

前年度から行っている交流会を引き続き開催し、活性化に努めて頂きます。

My Lion を利用し活動報告を行って頂きます。

### 4. 委員会の活用

GMA (グローバル・メンバーシップ・アプローチ)

GET (グローバル・エクステンション・チーム)

GMT (グローバル・メンバーシップ・チーム)

GLT (グローバル・リーダーシップ・チーム)

GST (グローバル・サービス・チーム)

SPC・FWT (スペシャルティプロジェクト・ファミリーアンドウーマンチーム)

LCIF、クエスト、ICT、YCE・レオ、アラートの専門知識を持った正副委員長は。

リジョン、ゾーン内の各クラブに情報提供と研修の実施。

## **重点目標**

1. GMA (グローバル・メンバー・シップ) 正副委員長はリジョン・チェアパーソン、ゾーン・チェアパーソンと共に、リジョン内各クラブの例会参加率(満足度)と新規会員入会者数の多いクラブ調査し、成功事例を会長会議又はガバナー諮問委員会を通して情報を共有し、若い会員の入会につなげる。

2. GET、SPC・FWT 正副委員長はリジョン・チェアパーソン、ゾーン・チェアパーソンと一緒に、リジョン内で EXT・SPC・支部作り等を掲げるクラブを育成し、チャーターナイト人数を 40 名以上とする。
3. GLT 正副委員長は、リジョン・ゾーン内の会員対象に階層別研修を実施し、ライオンズ活動・次世代リーダー育成等を行う。
4. GST 正副委員長は、三献運動(献血・献眼・献腎)と骨髄バンク登録運動と臓器提供意思表示カード携帯の推進。環境保全の合同アクトを実施する。
5. LCIF 正副委員長は 100 万<sup>ドル</sup>キャンペーンの重要さの周知徹底に努め、参加クラブ、会員数の増加を図り目標の 20 万<sup>ドル</sup>達成を目指す。交付金活用事業方法と実施クラブの内容を報告する。
6. クエスト正副委員長は九州大会の成功に向け活動を行う。
7. YCE・レオ正副委員長は、YCE プログラム再開時の準備と OB 生の名簿作成を計る。レオはマンスリーレポートからマイライオンへ移行と交流会の実施。
8. IT 環境の整備で WEB 会議の充実を図る。
9. アラート正副委員長は、自然災害に備えアラート委員会活動の充実を図る。